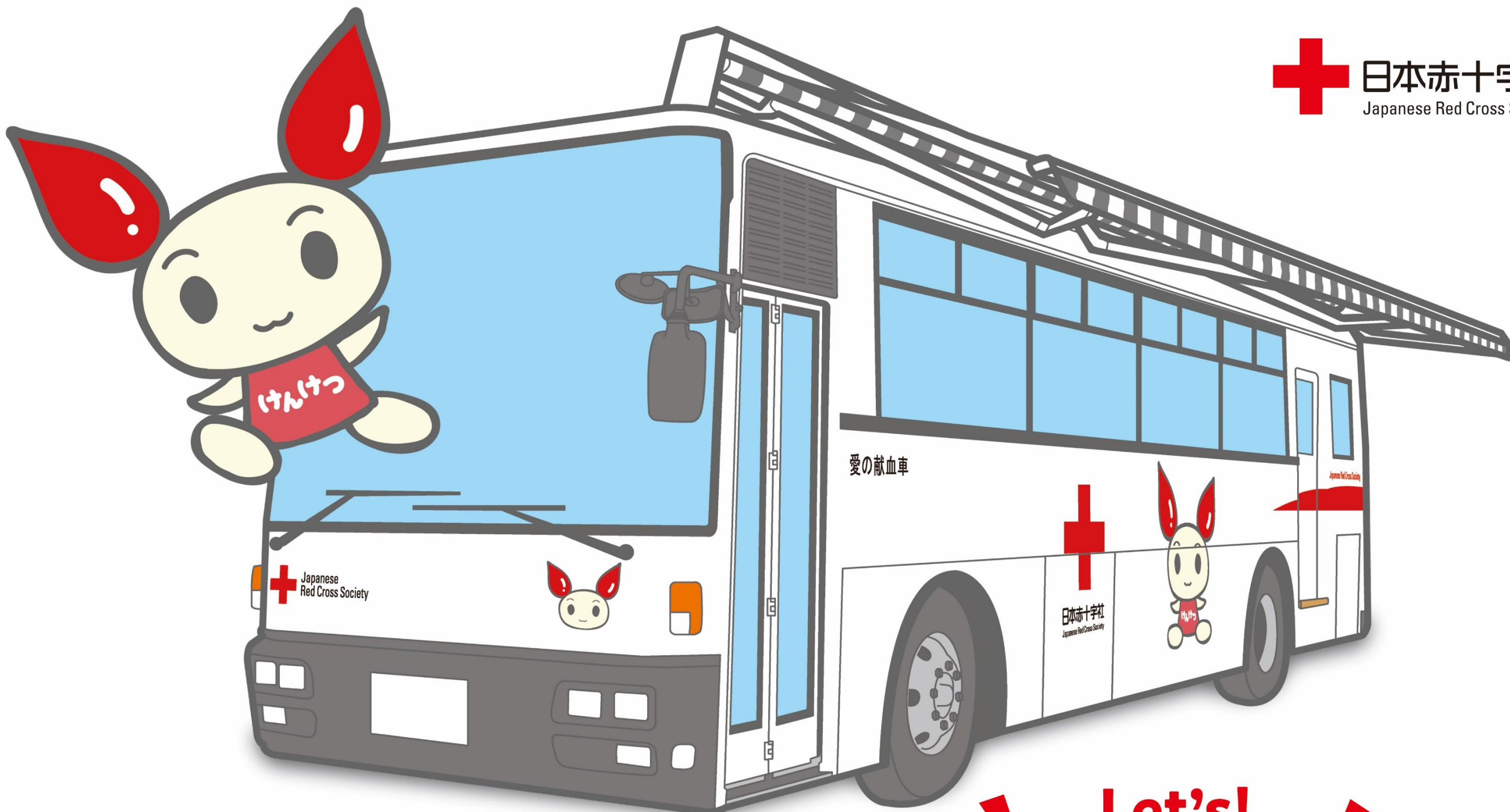




Let's!
kenketsu

献血バスが来ます!

10月15日 (水)

献血者必要

9:30~12:00

会場：小俣組様 駐車場内

神奈川県内大変困っています！
ご協力をお願いします

目標25名様



輸血経験のある方(ご家族)のメッセージ

輸血治療を受けての想い、
現在の心境、献血者への想い…
短いものでも、どのようなものでも構いません。
献血者に向けてのメッセージをお書きください。

※当センターのホームページおよび96K 献血ルーム等で掲載させていただくことがあります。
投稿されるものは、匿名で個人を特定できる情報が入っていないものに限り、ご注意ください。

息子が100回を超える輸血のお世話に
1人1命をつないでいただいています。
元気な血を分けたいので、皆様へ
心より感謝しております。
ありがとうございます。

居住地(都道府県): 神奈川県 / ペンネーム: 大塚ハルミ

 日本赤十字社 神奈川県赤十字会センター

献血前にご確認ください！！

現在、医療機関から求められる血液の約98%が400mL献血由来製剤のため、400mL献血が可能な方には、400mL献血のご協力をお願いしています。

全血献血の採血基準

	200mL	400mL
年齢	男女とも16歳～69歳 ※65歳以上の方は60歳～64歳の間に献血の経験がある方に限られます。	男性：17歳～69歳 女性：18歳～69歳
体重	男性：45kg以上 女性：40kg以上	男女とも50kg以上

以下に該当する方は、当日献血をご遠慮いただいております。

- ✓ 3日以内に出血を伴う歯科治療（歯石除去を含む）を受けた方
- ✓ 4週間以内に海外から帰国（入国）した方
- ✓ 1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方
- ✓ 過去に輸血や臓器移植を受けた方

上記以外の理由により、ご遠慮いただく場合がございます。
くわしくは日本赤十字社のホームページをご確認ください。



お薬を服用していても、献血が可能な場合があります。

当日服用していても献血ができる主なお薬

- ✓ 降圧薬
- ✓ 脂質異常症（高脂血症）治療薬
- ✓ 高尿酸血症治療薬（痛風予防薬）
- ✓ 胃腸薬
- ✓ 漢方薬、ビタミン薬、ミネラル剤
- ✓ アレルギー治療薬（アレグラ、アレロック、ザイザル、ジルテックなど）
- ✓ 低用量ピル

前日までの服用であれば献血できるお薬

- ✓ 市販風邪薬
- ✓ 市販解熱鎮痛薬（ロキソニン、バファリンなど）
- ✓ 睡眠薬
- ✓ 前立腺肥大症治療薬

■ お薬の服用有無に関わらず、当日の健康状態を医師が判断し、献血をお断りさせていただく場合があります。

お問い合わせ
神奈川県赤十字血液センター 献血推進課
☎045-834-4619[平日9時～17時]

● 献血するメリットは？ ●

献血にご協力いただいた方への感謝の気持ちとして
血液検査を行い結果をお知らせ！

7項目の生化学検査

- ① ALT (GPT)
- ② γ -GTP
- ③ TP 総蛋白
- ④ ALB アルブミン
- ⑤ A/G アルブミン対グロブリン比
- ⑥ CHOL コレステロール
- ⑦ GA グリコアルブミン

8項目の血球計数検査

- ① RBC (赤血球数)
- ② Hb (ヘモグロビン濃度)
- ③ Ht (ヘマトクリット値)
- ④ MCV (平均赤血球容積)
- ⑤ MCH (平均赤血球ヘモグロビン量)
- ⑥ MCHC (平均赤血球ヘモグロビン濃度)
- ⑦ WBC (白血球数)
- ⑧ PLT (血小板数)

生化学検査サービス項目の意味 (抜粋)

ALT (GPT)

基準値 (単位)

8~49 (IU/L)

肝臓の細胞に多く存在する酵素の一種です。ALTが高いと、肝臓に炎症や障害がある可能性があり、低い場合は、肝臓の働きが低下している可能性があります。高くなる原因は、肝炎ウイルスやアルコールなどがあり、肝硬変や肝がんなどの重篤な病気の可能性も高まります。



血球計数検査サービス項目の意味 (抜粋)

WBC (白血球数)

基準値 (単位)

3800~8900 (/ μ L)

白血球は体内の環境を外敵から守る役割があります。白血球が減少することで体内の免疫機能が低下し、さまざまな感染症にかかりやすくなります。また白血球の総数だけでなく、どの種類の白血球が減少したかによってかかりやすい感染症の種類が決まります。



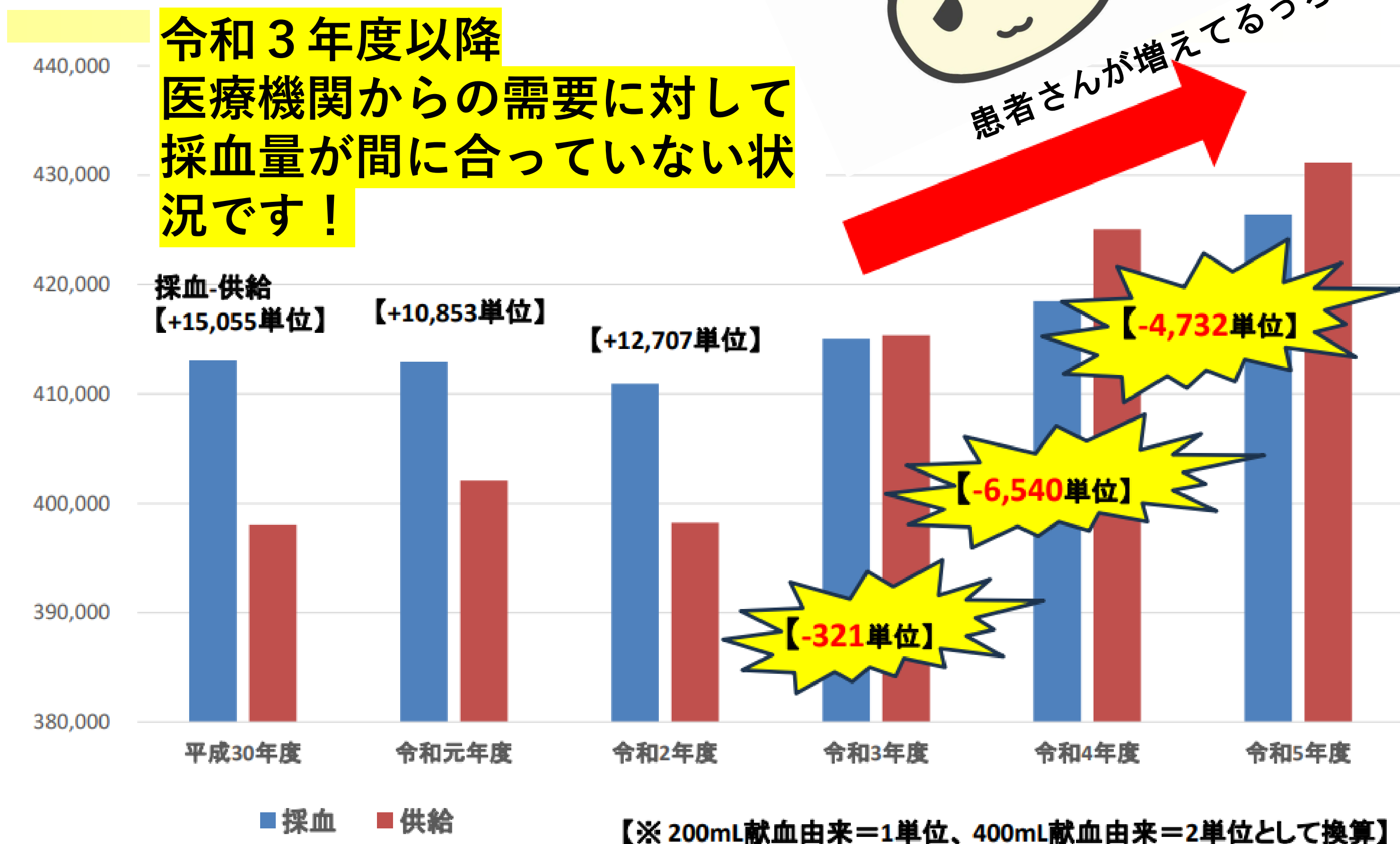
参考 : Medical DOC

献血頂くと、血液検査サービス通知をお届けしています
日頃のご自身の健康チェックにもお役立ていただけます

おいらせ

神奈川県内の状況です

採血量と医療機関からの需要の比較 (平成30年度～令和5年度)



【増加傾向の主な要因】

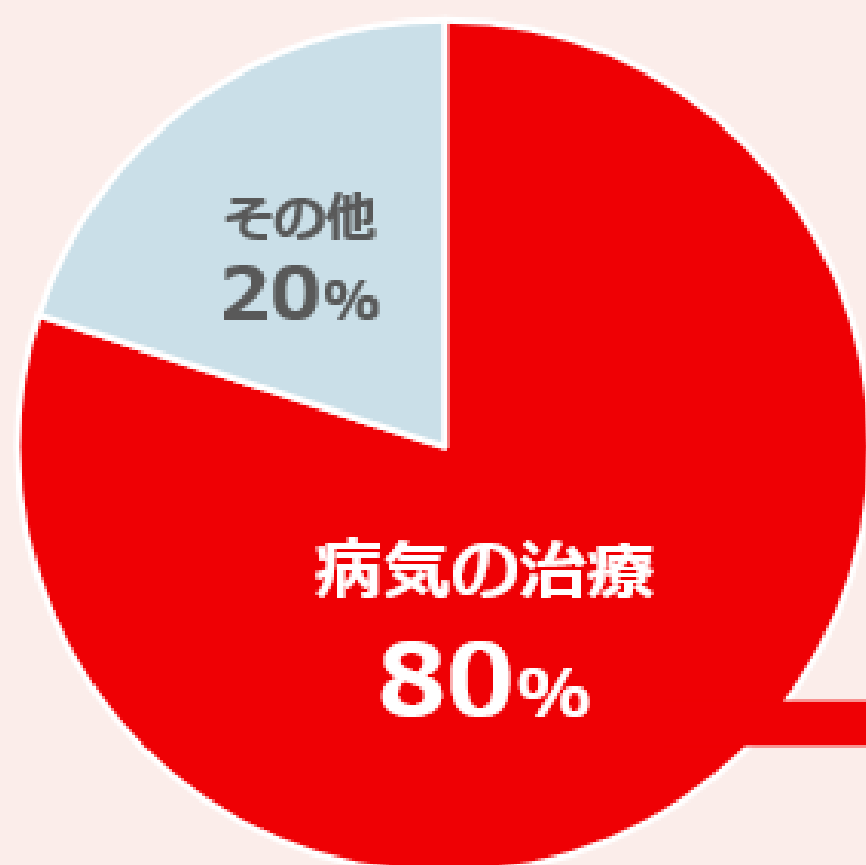
- ① 少子高齢化の影響により輸血を必要とする患者の増加
 - ② コロナ禍以降手術件数の増加
 - ③ 在宅医療での使用量増加
- など、複数の要因が重なっていることが挙げられます。

ただいま、

他県で献血頂いた血液を、県内の病院にお届けしている状況です。
お一人でも多くの皆さまにご協力をお願いしております。

● 献血した血液はどうなるの？ ●

輸血の多くが病気の患者さんに使われている



疾病別輸血状況（令和3年東京都）※不詳は除く

損傷、中毒及びその他外因 2.3%

妊娠・分娩 0.7%

腎尿路生殖器系 1.8%

筋骨格系及び結合組織 1.5%

消化器系 6.9%

その他の疾患

17.2%

悪性新生物

34.4%

循環器系

15.8%

血液及び造血器

19.5%

東京都福祉保健調べ

一度に大量に使われることも・・・

腹部大動脈破裂

赤血球製剤 20本



血漿製剤 20本



血小板製剤 4本



会場で頂いた多くの方の献血血液が、1人の患者さんを救うこともあります